

伊勢のごせんぐう

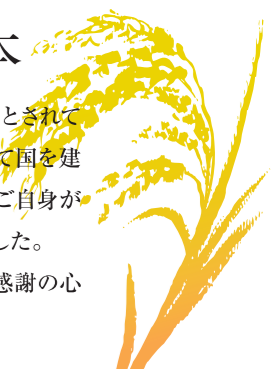
平成感謝

平成最後の神嘗祭

来年、新しい御代を迎える瑞穂の国 日本

天孫降臨の神話では歴代天皇に継承される三種の神器とともに、天照大御神から稲穂が託されたとされています。米を作る暮らしが、この国の繁栄と平和をもたらすとのお教えからはじまり、お米を命の糧として国を建て、稲作を営み、神々を祀り、豊作を祈り、収穫の感謝を捧げてきました。毎年 神嘗祭には天皇陛下ご自身が皇居で作られた御初穂も神宮に献進されます。そうして日本古来の文化、大切な心が伝承されてきました。

神恩感謝の言葉通り、時代が変わろうとしている今、この伊勢だからこそ、平成に生きた民として感謝の心を表したいものです。



神嘗祭・初穂曳

外宮領陸曳

10月15日(月)

10時00分～12時30分・高柳商店街～外宮

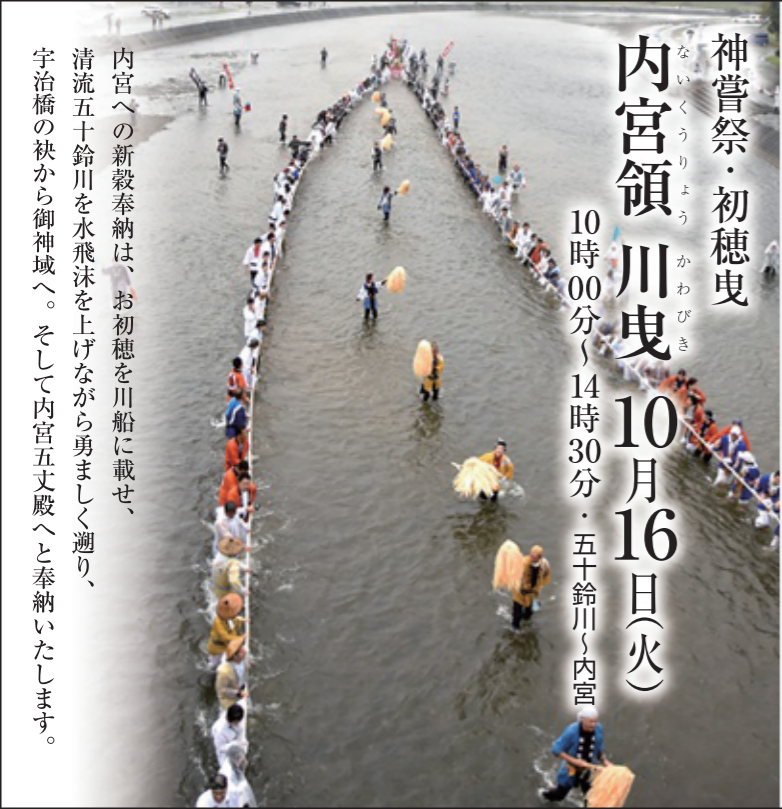
外宮への新穀奉納は、お初穂を奉曳車に載せ、勇ましい木遣り唄と、エンヤの掛け声で賑やかに祝いながら、外宮の神域へ運び入れます。

神嘗祭・初穂曳

内宮領川曳

10月16日(火)

10時00分～14時30分・五十鈴川～内宮



内宮への新穀奉納は、お初穂を川船に載せ、

清流五十鈴川を水飛沫を上げながら勇ましく漕ぎ、

宇治橋の袂から御神域へ。そして内宮五丈殿へと奉納いたします。